

## 確認テスト

### (3級) 第6回：貸借対照表⑤－負債

#### 問1 穴埋め

負債とは、企業が負うべき（ ）で、（ ）で示すことができるものをいう。

#### 問2 正誤判定

借入金の未払いの利息は未払費用に計上される。

#### 問3 穴埋め

商品の販売代金を先に受け取った場合は（ ）に計上される。

#### 問4 正誤判定

契約負債とは財・サービスを顧客に引き渡す義務に対して、顧客から対価を受け取ったものまたは対価を受け取る期限が到来しているものをいい、具体的には「未払金」で表記されることもある。

#### 問5 正誤判定

引当金は発生の可能性が低くても、金額を合理的に見積もることができる場合は、計上しなければならない。

#### 問6 正誤判定

引当金の4要件に該当する場合、企業は引当金を設定することができる。

#### 問7 正誤判定

賞与引当金は流動負債の部に表示されるが、貸倒引当金は流動負債の部に表示されない。

#### 問8 次のうち固定負債に該当するものはどれか

退職給付引当金    電子記録債務    繰延税金負債    預り金

# 解答

## 問1 穴埋め

負債とは、企業が負うべき（**経済的負担**）で、（**貨幣額**）で示すことができるものをいう。

## 問2 正誤判定

借入金の未払いの利息は未払費用に計上される。

⇒ **正しい**

## 問3 穴埋め

商品の販売代金を先に受け取った場合は（**前受金**）に計上される。

## 問4 正誤判定

契約負債とは財・サービスを顧客に引き渡す義務に対して、顧客から対価を受け取ったものまたは対価を受け取る期限が到来しているものをいい、具体的には「未払金」で表記されることもある。

⇒ **誤り**：契約負債は具体的には「**前受金**」と表記されることもある。

## 問5 正誤判定

引当金は発生の可能性が低くても、金額を合理的に見積もることができる場合は、計上しなければならない。

⇒ **誤り**：発生の可能性が高いことも引当金の要件の1つとなる。

## 問6 正誤判定

引当金の4要件に該当する場合、企業は引当金を設定することができる。

⇒ **誤り**：4要件に該当する場合は引当金を設定しなければならない。

## 問7 正誤判定

賞与引当金は流動負債の部に表示されるが、貸倒引当金は流動負債の部に表示されない。

⇒ **正しい**

## 問8 次のうち固定負債に該当するものはどれか

退職給付引当金    電子記録債務    繰延税金負債    預り金

⇒ 「**退職給付引当金**」と「**繰延税金負債**」が固定負債に該当する。

（「**電子記録債務**」と「**預り金**」は流動負債。）